

平成21年度事業報告

1 運営管理

(1) 理事会及び総会

理事会及び総会を以下のとおり開催した。

- ① 平成21年度第1回通常理事会（平成21年5月26日（火）16:00～16:30）

場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

議題：1) 法人会員の入会について

2) 平成20年度事業報告

3) 平成20年度決算報告

4) 平成21年度第1回通常総会審議事項について

- ② 平成21年度第1回通常総会（平成21年5月26日（火）16:30～17:00）

場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

議題：1) 平成20年度事業報告

2) 平成20年度決算報告

- ③ 平成21年度第2回通常理事会（平成22年3月26日（金）13:00～13:40）

場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

報告：公益法人改革にかかる新制度移行について（新制度移行検討会報告）

議題：1) 平成22年度短期借入金（案）

2) 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）

3) 役員人事について

4) 新制度移行方針の策定について

5) 移行後最初の代表理事の選任について

6) 法人会員の退会について

- ④ 平成21年度第2回通常総会（平成22年3月26日（金）13:50～14:30）

場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

報告：公益法人改革にかかる新制度移行について

議題：1) 平成22年度短期借入金（案）

2) 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）

- 3) 新制度移行方針の策定について
- 4) 理事の退任について

(2) 企画総務部会

組織及び運営全般に関する検討事項を審議するため、以下のとおり企画総務部会を開催した。特に、本年度は公益法人制度改革にともなう新法人移行問題に対応するため、企画総務部会内に「新制度移行検討会」を設置し所定の活動を実施した。

- ① 第1回 平成21年5月22日(金) 17:00~18:00
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4
議題：1) 平成21年度第1回通常理事会・総会議案について
2) 平成21年度業務受注状況について
3) POの異動について
4) 公益法人制度改革にかかる移行状況について
- ② 第2回 平成21年9月11日(金) 17:00~18:00
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4
議題：1) 平成21年度収支状況報告について
2) 第1回公益法人制度改革にかかる移行の検討について
- ③ 第3回 平成21年11月13日(金) 17:00~18:00
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4
議題：1) 平成21年度決算見込みについて
2) 第2回公益法人制度改革かかる移行の検討について
- ④ 第4回 平成22年1月22日(金) 17:00~18:00
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4
議題：1) 平成21年度決算見込みについて
2) 第3回公益法人制度改革かかる移行の検討について
- ⑤ 第5回 平成22年3月12日(金) 17:00~18:00
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4
議題：1) 平成21年度決算見込みについて
2) 第4回公益法人制度改革かかる移行の検討について
3) 平成21年度第2回通常理事会・総会議案について

2 自主事業

(1) 情報交流推進に関する事業

① 学会会員の募集

平成20年度に引き続き、学会会員を募集した。平成22年3月末の学会会員数は、77名である。

② 会誌の発行

平成20年度に引き続き、情報交流部会に編集委員会（委員長：樋口広芳（東京大学大学院教授））を設置し、以下の会誌を作成するとともに、国内外の大学、研究機関、国際的研究計画事務局、協会会員などに配布した。

1) 和文誌「地球環境」Vol.14 No.1

テーマ：小笠原における外来種対策とその生態系影響

2) 和文誌「地球環境」Vol.14 No.2

テーマ：地球温暖化－日本における影響の総合評価

3) 英文誌「Global Environmental Research」Vol.13 No.1

テーマ：New Horizons in Global Environmental Research : Biometeorological Aspects

4) 英文誌「Global Environmental Research」Vol.13 No.2

テーマ：Wind Disaster Risk and Global Environment Change

なお、上記会誌並びに続刊号のテーマ及び内容を検討するため編集委員会を、以下のとおり開催した。

第1回委員会 平成21年 4月 3日

第2回委員会 平成21年 7月 2日

第3回委員会 平成21年10月16日

第4回委員会 平成22年 1月15日 計4回

③ 国際環境研究協会ニュースの発行

法人会員、個人会員、学会会員向けに、「国際環境研究協会ニュース」第154号～第165号を作成し送付した。

④ 会員に対する情報提供事業

法人会員、個人会員に対し、協会が入手した国立環境研究所ニュース等の資料を送付

した。

(2) 調査・共同研究に関する事業

① 地球環境保全委員会

地球温暖化・砂漠化などの地球的環境問題、循環型社会形成など幅広い環境問題に関して、環境省をはじめとした各関係機関の施策の動向に関する情報を収集した。

② 感覚環境委員会

感覚環境に関して国内外における関連文献の調査を実施した。

(3) 広報事業

平成20年度に引き続き、以下の事業を実施した。

- ① 協会パンフレットの更新及び配布
- ② 協会ホームページの更新

3 受託事業

3. 1 環境省

(1) 国際交流研究事業

① エコ・フロンティア・フェロー受け入れ

外国人研究者3名の日本国内での研究支援（入国手続き、身元保証、住宅・家具手配、生活費・家族手当支給、渡航旅費支給等）を実施した。

フェロー名簿及び受入機関

NO	国籍	フェロー氏名	受入研究機関
1.	中国	Chunjing ZOU	(独) 国立環境研究所
2.	中国	Tianbao ZHAO	総合地球環境学研究所
3.	韓国	Kyoungwon CHO	(独) 国立環境研究所

② 研究成果報告会の開催

平成22年3月3日（水）に受入研究者の研究成果報告会を開催した。

会場：航空会館（港区新橋1-18-1）

形式：口頭発表

(2) 地球環境研究総合推進費研究管理事業

① プログラムオフィサーによる研究管理業務

地球環境研究総合推進費の運営にあたり、研究分科会ごとにプログラムオフィサー計5名及び全体を総括する総括プログラムオフィサー1名を配置し、以下の業務等を実施した。

- 1) 各研究課題の詳細と研究費管理上の実務の理解
- 2) 平成 22 年度の研究費について、各課題代表者が作成する財務省実行協議用資料の研究計画の確認
- 3) 「アドバイザーボード会合」への出席と議事要旨の報告
- 4) 研究の進捗状況の把握
- 5) 評価結果の次年度研究計画反映に関する課題代表者への指導・助言
- 6) ⑤の報告書原稿及び⑦推進費パンフレット原稿の確認
- 7) 課題代表者から入手した研究成果の発表・普及情報について、プレスリリース・謝辞等に推進費による成果であることの記載・言及の確認
- 8) 課題代表者・課題参画者等からの問い合わせへの対応
- 9) 環境省担当官への各課題についての進捗状況の定期的報告

② 地球環境研究企画委員会第1～4研究分科会の運営

- 1) 研究分科会委員の委嘱に関する手続き
- 2) 事前・中間・事後評価専門部会委員の委嘱に関する手続き
- 3) 中間評価・新規採択のためのヒアリング実施にかかる研究分科会の開催
- 4) 委員への旅費、謝金、書面審査委員への評価謝金の支払い
- 5) 開催に当たっての、環境省、各委員との連絡調整
- 6) 地球環境研究企画委員会の資料作成補助及び出席

③ 平成 22 年度新規課題公募に関する支援業務

- 1) 科学雑誌等の発行物及び WEB 上の掲示板、関連学会誌及びホームページ等に新規課題公募に関する情報の掲載依頼
- 2) 第1次審査（書面審査）の補助業務
 - ・ 審査委員の選定
 - ・ 各審査委員への審査の依頼及び応募用紙一式の審査委員への発送

- ・委員による評価結果のとりまとめ・集計
- ・第2次審査委員の選定・評価結果の報告
- 3) 第2次審査（ヒアリング）にかかる業務
 - ・各委員及び環境省との日程調整
 - ・委員会配付資料の作成補助
 - ・会場設営及び後片付け
 - ・委員の評価結果の集計及び浄書
 - ・議事録の作成
- ④ 継続課題の中間評価及び終了課題の事後評価に関する支援業務
 - 1) 書面評価
 - ・審査委員の選定、各審査委員への審査の依頼及び中間成果報告集又は成果報告書用原稿の審査委員への発送
 - ・委員による評価結果のとりまとめ・集計
 - ・中間評価対象研究課題に関する評価集計結果の環境省への報告
 - ・地球一括計上による研究課題の事前・中間・事後評価の依頼、評価結果の取りまとめ、集計及び評価謝金の支払い等
 - 2) ヒアリング評価
 - ・各委員及び環境省との日程調整
 - ・委員会での配付資料の準備補助
 - ・会場設営
 - ・委員の評価結果の集計及び浄書
 - ・議事録の作成
- ⑤ 平成20年度研究成果のとりまとめに関する業務
 - 1) 地球環境研究総合推進費終了研究成果報告書
 - 2) 地球環境研究総合推進費平成20年研究成果－中間成果報告集－
 - 3) 地球環境研究総合推進費平成20年研究成果－成果概要集－（和英）
- ⑥ 終了課題成果報告会の運営
 - 1) 平成20年度終了研究課題に関する成果報告会の実施（3/3 航空会館）
 - 2) 研究分科会委員への旅費、謝金の支給
- ⑦ 平成21年度地球環境研究総合推進費パンフレット作成・印刷業務

平成 20 年度実施中課題の各課題代表者から提出された原稿を取りまとめ、デザイン・レイアウトを検討し、和文・英文パンフレットの印刷原稿を作成・印刷（和文 2000 部、英文 800 部）した。また、ホームページ掲載用の PDF ファイルを作成した。

⑧ 研究動向の把握

関係論文の収集や国内の関係学会に参加し、最新の研究動向について情報収集をおこない、環境省に報告した。

(3) 競争的研究資金制度・管理支援事業

環境省が実施する 4 つの競争的研究資金制度の一連の業務を、効果的かつ効率的に運用するため、プログラムディレクター 1 名を配置し下記の業務を実施した。

① 競争的研究資金制度の運営に関する業務

- 1) プログラムオフィサー業務の監督・評価
- 2) 研究課題に関する評価結果の適切な反映、フォロー、研究実施者に対する指導・助言
- 3) 各競争的資金制度の研究課題の募集・評価・成果発表に対する提言・助言
- 4) 環境省関係各課室が評価委員会の評価結果を踏まえて行う採択課題選定に対する助言

② 競争的研究資金制度の改善に関する業務

- 1) 各競争的研究資金制度の改善に向けた提言・助言、特に評価手法の改善への提言・助言
- 2) プログラムの方針決定、新規プログラムや新規領域の決定についての提言・助言
- 3) 各制度内の領域間・分野間・プログラム間等の資金の配分額や配分方式（個人研究とグループ研究等）の決定についての提言・助言
- 4) 追跡評価委員会への出席

③ 総合科学技術会議の対応に関する業務

- 1) 総合科学技術会議が開催する「競争的研究資金 PD 会議」への出席
- 2) 総合科学技術会議が行ういわゆる「SABC 評価」の際のプレゼンテーション
- 3) 総合科学技術会議との意見調整

④ 上記の①～③のために必要な会議、打合せ、研究動向把握等の業務

- 1) 各競争的研究資金制度の評価委員会への出席
- 2) 環境省関係各課室との打合せ・意見調整、プログラムオフィサーとの打合せ、研究評価に関するヒアリング
- 3) 研究動向の把握
- 4) その他、関連して必要な業務

(4) 環境研究・技術開発推進費委託研究管理・支援事業

環境研究・技術開発推進費制度の効果的かつ効率的な運用のため、プログラムオフィサー1名を配置し、下記の業務等を実施した。

① PO事業

POは、推進費の効果的かつ効率的な運用の実施のため、下記の事業を行った。

- 1) 課題の進捗状況を把握し、必要に応じて現地調査
- 2) 評価委員候補の選定
- 3) 事前・中間・事後・追跡評価委員会への出席・評価結果のとりまとめ
- 4) 評価時の委員指摘事項指導・助言等
- 5) 継続課題の次年度研究計画のチェック
- 6) 応募書類の精査（内容把握、不受理の理由説明フォロー・評価担当者案の作成）
- 7) 採択候補課題の研究計画のチェック
- 8) 評価内容や不採択理由についての申請者への対応
- 9) 研究動向の把握（論文等からの情報収集、学会・セミナー等への出席）
- 10) その他、上記に関連して必要な事業

② 支援事業

- 1) 書面評価に対する謝金の支払い
- 2) 分科会の運営
 - ア. 5分科会（大気・都市環境及び循環型社会、水・土壌環境、自然環境、生態リスク評価、健康リスク評価）×2回を開催
 - イ. 会場（経済産業省別館共用会議室）の設営並びに音響等の発表に必要な備品の手配
 - ウ. 評価委員への出席謝金、委員等旅費、会議費（お茶及び昼食）等の支給

(5) 地方における環境調査研究機能強化調査業務

地域における環境研究・技術開発ポテンシャルを維持・向上させ、地域住民が求めている事項に適切に対応するための地環研の在り方について検討し、提言として取りまとめた。

実施した業務は下記のとおりである。

① 地環研及び地域における環境研究・技術開発に係る実態調査

1) 地環研に関する基礎調査

2) 地域における環境研究・技術開発に係る動向調査

地環研、地方公共団体(地環研所管行政部局)及びその他の試験研究機関(独)国立環境研究所)全9箇所ヒアリング調査を実施した。

② 提言のとりまとめ

①の調査結果等を踏まえて、地環研の在り方についての提言をとりまとめた。

③ 検討会の開催

②の検討に当たり、学識経験者、行政、産業界等の有識者8名で構成する検討会を開催した。

第1回検討会 日時：平成22年2月 3日(水) 10:00~12:00

第2回検討会 日時：平成22年3月12日(金) 15:00~17:00

第3回検討会 日時：平成22年3月24日(水) 16:00~18:00

(場所はいずれも都道府県会館)

(6) 環境研究・技術開発推進事業追跡評価業務

環境省が実施している4つの競争的研究資金において、平成17年度に終了した64件(FSを除く)について追跡評価を実施し、研究開発成果の実用化や普及の状況を追跡評価するとともに、環境保全の推進効果や、市場創出効果等の経済的・社会的波及効果を把握した。また、他府省の主な競争的資金制度の概要及び総合科学技術会議での競争的資金に係る最近の審議状況を取りまとめ、これらの評価結果・調査結果等を踏まえて、現行の制度評価を行い、制度改善に向けてその方向性を示した。実施業務は以下のとおりである。

① 評価委員会の運営

第1回評価委員会 日時：平成21年12月1日(火) 14:00~16:00

第2回評価委員会 日時：平成22年1月26日(火) 14:00~16:00

第3回評価委員会 日時：平成22年3月10日(水) 14:00~16:00

(場所はいずれも都道府県会館)

- ② アンケート調査の実施
 - ・ 課題研究の成果の活用状況
 - ・ 後続研究の研究実施状況
 - ・ 課題研究及び後続研究の研究実績・普及効果
- ③ 上記②の内、10件について個別調査ヒアリングの実施
- ④ 追跡評価結果報告書の作成

(7) 感覚環境設計に係る調査業務

熱、光、かおり、音といった人間の五感感覚を重視したまちづくりを総合的に推進するため、以下の業務を実施した。

① より良い感覚環境の見える化の手法検討

より良い感覚環境を客観的・定量的に評価するため、国内外の関連文献を調査し、参考となりうる文献を16件収集し、その概要を取りまとめた。

② 優良取組事例を対象とした表彰等の枠組みの検討

感覚環境のまちづくりの優良取組事例を発掘し、取組を奨励することを目的としたコンテスト・表彰等の手法を検討するため、国・公益法人・企業等が実施するコンテスト・表彰等にかかる情報を31件収集し、その目的、審査採用、効果、実績等について整理した。また、この結果をもとに、感覚環境のまちづくりに関する表彰等の枠組みに関する検討会を2回開催した。

第1回検討会：平成21年12月16日（水）東京国際フォーラム

第2回検討会：平成22年 2月22日（月）東京国際フォーラム

③ 公開検討会（フォーラム）の開催

感覚環境のまちづくりの普及啓発を目的とした公開検討会として、「感覚環境のまちづくりフォーラム in 静岡市」を開催した。

日 時：平成21年10月4日（日）9:30～12:10

会 場：日本平ホテル（静岡市清水区馬走1500-2）

参加者数：約200名

(8) 環境研究・技術開発に係る成果発表会実施業務

平成 21 年度環境研究・技術開発推進費終了課題のうち、FS 枠を除く 17 課題を対象に研究の成果発表会を開催するとともにアンケート調査を実施した。

日 時：平成 22 年 3 月 26 日（金）10:00～15:35

場 所：全国都市会館 第 3・第 4 会議室

参加者数：51 名

(9) 地球温暖化対策技術開発事業（平成 21 年度事業選定補助）委託業務

地球温暖化対策技術開発事業の応募課題・継続実施課題の選定・審査を迅速に行うことを目的として、以下の業務を実施した。

① 地球温暖化対策技術開発事業の審査・評価に係る情報の抽出・収集・整理業務

地球温暖化対策技術開発事業及び地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業について、各課題から評価に必要な、技術的情報の抽出・収集・整理を行った。

技術情報の抽出・整理

応募課題に関連する技術情報の収集及び抽出、整理を行い、審査・評価を効率的に進めるための資料を準備した。応募課題に関連する技術情報の収集は、主にインターネットを活用し、図書、雑誌、学術文献、特許、新聞などを検索した。検索結果から、応募課題に記載された技術開発の概要、目標値の妥当性、必要性・緊急性、新規性・先駆性などの各項目が把握できるような技術情報を、可能な限り抽出した。

② 技術開発小委員会の資料作成等、会議の運営補助業務

1) 技術開発小委員会（第 1 回） 平成 21 年 4 月 24 日（金）13:30～15:30

2) 技術開発小委員会（第 2 回） 平成 21 年 9 月 16 日（水）13:00～17:00

3) 地球温暖化対策技術開発評価委員会（第 1 回）
平成 22 年 3 月 5 日（金）10:00-12:00

4) 地球温暖化対策技術開発評価委員会（第 2 回）
平成 22 年 3 月 15 日（月）14:00-16:00

5) 次世代自動車分科会 平成 22 年 3 月 2 日（火）14:00-17:00

6) 省エネ住宅・オフィス等分科会（第 1 回）
平成 22 年 2 月 12 日（金）13:00-15:00

7) 省エネ住宅・オフィス等分科会（第 2 回）

平成22年3月5日（金）13:00-16:00

8) 再生可能エネルギー等分科会（第1回）

平成22年2月23日（火）13:00-15:00

9) 再生可能エネルギー等分科会（第2回）

平成22年3月8日（月）9:00-12:00

10) バイオマス・循環資源分科会（第1回）

平成22年2月9日（火）13:00-15:00

11) バイオマス・循環資源分科会（第2回）

平成22年3月8日（月）15:00-18:00

③ 二酸化炭素排出抑制対策事業を活用した事業に関する実績調査・情報整理

平成17年度より平成20年度までに環境省が補助した二酸化炭素排出抑制事業費により整備された設備等の稼働状況、それによる実際の二酸化炭素削減量及び波及効果等についての情報収集を行い、得られたデータを一般にも理解しやすい形で整理した。情報収集・整理を行った事業は地域協議会対策事業（72組織、92事業）及び企業・団体等対象事業（109組織、136事業）である。

④ 地球温暖化対策技術に係る情報発信方法の企画業務

情報提供を広く行うため、情報を整理するとともに、ホームページの編集を行った。

⑤ 成果発表会の開催

地球温暖化対策技術開発事業及び地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業に係る情報提供を広く行うため、環境省が実施する成果発表会に際し、日程調整・案内、資料等の作成、会場の手配・設営、飲料等の準備、傍聴受付、講演録の作成、委員等への旅費・謝金の支払い等、開催に係る業務を実施した。

日時：2010年1月13日（水）13:20～17:00

場所：アルカディア市ヶ谷 5階「大雪」

参加者数：96名

(10) 循環型社会形成推進科学研究費補助金等に係る委員会運営及び廃棄物処理技術等情報提供システム改善業務

循環型社会形成推進科学研究費補助金交付要綱に規定される「研究事業」（循環型社会形成推進研究事業）並びに「推進事業」（循環型社会形成推進科学研究推進事業）及

び次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業補助金交付要綱に規定される「技術開発」(次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業)について、次年度の公募内容の検討、提出された研究計画書の審査を行うため、以下の委員会を開催するとともに、国内外の廃棄物処理技術にかかる最新情報を収集し、環境省ウェブサイト掲載用原稿を作成した。

① 循環型社会形成推進科学研究企画委員会の開催

循環型社会形成推進研究推進事業の事前評価を実施し、評価結果を取りまとめるとともに、以下のとおり企画委員会を開催した。

日時：平成22年3月19日(金) 14:00~17:00

場所：経済産業省 別館

② 循環型社会形成推進研究審査委員会の開催

応募書類の書面審査を実施し評価結果を取りまとめるとともに、以下のとおり審査委員会を開催した。

日時：平成22年3月3日(水)、4(木) 2日間

場所：財団法人都道府県会館 東京都千代田区平河町2-6-3

③ 次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業審査委員会の開催

応募書類の書面審査を実施し評価結果を取りまとめるとともに、以下のとおり審査委員会を開催した。

日時：平成22年3月11日(木)

場所：財団法人都道府県会館 東京都千代田区平河町2-6-3

3.2 みずほ情報総研(株)

(1) 低炭素社会づくりのための施策検討調査請負業務にかかるシンポジウム運営等業務

環境省が3月下旬にとりまとめた「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(議論のたたき台)」をベースにした、下記のシンポジウムの運営業務を実施した。

テーマ：「低炭素社会構築に向けたロードマップ～温室効果ガス削減のための中長期目標を達成するには～」

日時：2010年3月31日(水) 13:00~17:30

会場：国連大学 ウ・タント国際会議場

主催：環境省

参加者数：約320名